

衆院議員

つじもと きよみ
辻元 清美さん



弱くてもいい庶民代表に

「留置場を出て、友達の所を転々とした。仕事はないし、マスコミには追い詰められた。私に死ねといふことか。午前中ずっと布団かぶってた」
秘書給与流用事件で逮捕されたのが2003年。それまではサクセスストーリーだった。早大生時代、世界を巡るビースポーツを始め、1996年に衆院

議員に初当選。答弁を拒む小泉純一郎首相に「ソーリ、ソーリ」を12回連呼し、名をはせた。鈴木宗男元衆院議員には「疑惑の総合商社」と迫った。その政界の花形が汚辱にまみれた。
鉛色の朝を迎えたことは、子供時代もあった。「親が商売に失敗し、小学4年まで4回も転校した。みんなの前で名前も言

えず泣いた。保健室で寝てた」泣き虫は時に変身した。大阪で在日朝鮮人や被差別部落の悲しみと苦勞を見て育った。「銭湯でそういう子が入ってくる」と『在日が来た』と差別する大人がいる。水をかけてやった。
政界復帰を後押ししたのは、そんな下町の人々だ。「再チャレンジ」などの手紙を添えて5

00円、千円のカンパが集まった。「弱い人たちのために復帰した? そんなん言うたら横柄や。私も同じ部類だから。うそついて、泣いて、逮捕されて全日本に恥をさらした。それなのにしんどい人たちが支えてくれた。政界は2世、3世や大きいとこの代表がぎょうさんいるけど、私は本物の庶民代表や、負けてたまるかってー」

批判はもちろん多い。東京からの帰途、天王山(京都府)を越え、大阪の街に入る車中で弱音を吐いたこともある。「もう嫌や、家に帰りたい」。運転手役の弟が怒った。「姉ちゃんの家はこの選挙区だ。皆で勝ち取った議席や。帰るところは、ここしかあらへん」

世間では元氣印の塊と思われてきた。50歳になった今は、「ソーリソーリの辻元パブルがはじけて自分に戻れた」と思う。

自殺者が毎年3万人を超すニッポン。強い人なんてそういない。弱くていい。絆さえあれば。そう生き方で示し続けている。

文・往住 嘉文
写真・浅利 文哉

inter
インタビュー
view

ドラマ
映画
スポーツ

録音・録画
☑ステレオ放送
☑二カ国語放送
☑音声多重放送
☑文字多重放送
☑手話通訳
☑Bモードステレオ

NHK、NHK教育 011・232・4000

STV 011・241・1181

WOWOW 0120・580807

UHB 011・214・5440

HTB 011・821・4411

Gコード問い合わせは
ジェムスター・ジャパン社
0120・448・442

HBC 011・232・5800

TVH 011・218・1507